



第2659回 例会

2016.10.20

会長あいさつ



2016-2017年度 久保田 勲会長

週報 No.2033  
発行 2016年 10月27日  
会長 久保田 勲  
幹事 樋口 雅之  
副会長 藤村 作  
副幹事 須田 悦正  
編集責任者  
クラブ広報委員長 長沼 大策

ビジターゲスト  
RI.D2770地区  
ロータリーの友地区代表委員  
伊藤 悟様(大宮シテイRC)  
米山記念奨学生  
チョウドリ・イムル君

行事予定  
11月3日 定款の規定により休会  
11月10日 地区大会  
(11/12~13)に振替  
11月17日 部門セミナー報告  
奉仕プロジェクト部門  
11月24日 (時間変更)  
新会員卓話  
小林裕一郎会員  
結婚・誕生祝

皆さんこんにちは。本年度14回目の例会に参加頂きありがとうございます。米山記念奨学生のチョウドリ・イムル君ようこそ。そしてロータリーの友地区代表委員の伊藤様、卓話を頂きますのでよろしく願っています。

先週・先々週の報告といたしまして、ロータリー行事ではございませんが、ロータリークラブには青年会議所OBの方が大勢いらっしゃいますので、木曜日の例会終了後、新幹線にて日本JCシニアクラブ全国大会広島大会に齋藤パスト会長・門崎会員ほか多くのOBメンバーで参加させていただきました。来年の全国大会が埼玉エリアにて行われるということで視察とPRを兼ねての参加になりました。現役時代の多くの仲間と久しぶりに会えて活力をもらって帰ってまいりました。

14日、金曜日に我がクラブのパスト会長でもあります細野さんの、名門・東松山カントリークラブのクラブシニア選手権優勝を祝う会がございました。本戦に出るだけでも大変な中、優勝ということでゴルフの技術もさることながら体調管理や精神面でもリラックスされての事だと思います。このような大会の上位を占める方の多くは、大学からゴルフ部に所属している方が多いのですが、青年会議所に入会してから覚えたゴルフをこつこつと練習を積み繊細さと優しさが相まっての優勝ということでした。おめでとうございます。15日、土曜日は藤村病院さん130周年健康フェアへの移動例会ということで、ロータリー財団創立100周年を地域の人たちにPRさせていただきました。

さて10月は米山月間ですが、まずは職業奉仕を含めて話そうと思います。ロータリーには5大奉仕部門があります。クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の五つです。順番は決まっています。これは決まり事です。例えば、第4奉仕部門といえば、ロータリアンなら国際奉仕と分かります。分からない人はこの順番を覚えてください。覚え方は、ロータリーの基本から1,2,3,4と進むと考えると分かりやすいと思います。国際ロータリーでは使わない表現で、第2770地区で使っている言葉が部門委員長です。クラブ奉仕は耳慣れない言葉で、ロータリアン以外の人にはまず通じないでしょう。昔、会務奉仕と訳していました。古いクラブに行きま

すと、まだこの会務奉仕という言葉を使っているクラブもあり、懐かしい気がありますが、これは後にクラブ奉仕と改訳されています。クラブのいろいろな職務を遂行するもので、ロータリークラブの基礎、土台です。例えば会員増強、広報、出席、ニコニコ、親睦などがクラブ奉仕です。職業奉仕は、2番目の奉仕部門で、ロータリーの金看板というか屋台骨です。クラブ奉仕と職業奉仕を踏まえて、社会奉仕になります。

10月は米山月間です。日本のロータリーの創始者とも言える米山梅吉氏の功績を偲んで、1952年、東京クラブが奨学事業の構想を立案し、翌年から募金を開始し、1954年にタイから奨学生第1号としてソムチャード氏が来日し、1957年に全国組織とするために、ロータリー米山奨学委員会を結成し、1960年に米山記念奨学会と改称されました。日本の教育機関に在籍する外国人留学生に奨学金を出すのです。日本独自のものです。日本のロータリアンの寄付によって支えられています。米山記念奨学会への寄付には、普通寄付と特別寄付の2種類あります。寄付金には税制上の優遇措置が受けられますので多くの寄付をお願いしたいと思います。

また職業奉仕といいますが四つのテストが思い浮かぶと思いますが、真実かどうか。みんなに公平か。好意と友情を深めるか。みんなのためになるかどうか。この四つのテストを考案した人は誰かご存じでしょうか。ロータリーは創立以来、現在110年目ですが、ロータリー50周年の時の会長だったアメリカ人のハーバート・テラーです。ハーバート・テラーは、世界恐慌の後、多くの会社が倒産する中、倒産しかかった会社を救うために四つのテストを神に祈り、考案した人です。ハーバート・テラーは若いころ、保険のセールスをしていました。その時の逸話の一つを紹介したいと思います。ある時、保険のセールスに失敗して妻に愚痴をこぼしました。そうしますと妻は言います、その人に保険が必要だったの？ハーバートは答えます、奥さんと子供が3人いるからもちろん保険は必要だ、と。するとまた妻は尋ねます、その人は保険料を払う余裕があるの？ハーバートは答えます、もちろんそのくらいの余裕のある人だ、と。妻は言います、それならセールスマンが悪いんだわ、相手の身になってセールスするという事でしょう、と。昔、「相手の身になって」というロータリー出版物がありました。相

手の鞆に自分を入れる、ということです。鞆のサイズは人それぞれですから、相手の身になる、という意味になります。このコツをつかんだ後、ハーバート・テラーは、地域でナンバーワンの保険のセールスマンになったということです。ハーバート・テラーは四つのテストは何かから始めたらよいかとの問いに、まず文章を覚えてください、と答えています。皆様もぜひ覚えてください。ロータリーに入会したのも何かの縁です。入った以上、ロータリーを知りましょう。できればロータリーを好きになってもらいたい、と思っています。例会に出席するのはもちろんいちばん大切ですが、ロータリーをもう少し多角的に見てみつの悪くないと思っていますので、皆様の積極的案例会参加をお願いし会長挨拶にかえさせていただきます。

幹事報告

樋口 雅之幹事

◆11月12日・13日に地区大会があります。12日は浦和で、13日は越谷です。スペシャルゲストはX JAPANのTOSHIさんが見えになるということです。全員登録し、予定を調整いただいでご出席のほどお願いいたします。  
◆米山のカウンセラー研修会が11月19日(土)夜に行われます。関口カウンセラー、よろしく願っています。  
◆RID3750地区へのインターアクトの派遣生募集の案内がきております。本年度は来年3月25日~3月30日、春休みの期間に訪韓になります。



ビジターゲストあいさつ

米山記念奨学生 チョウドリ・イムル君

先週は私の卓話を聞いてくださりありがとうございます。1つ報告させていただきます。12日(水)、春日部南RCへ当クラブの島村さんと一緒に卓話へ行ってきました。春日部南さんも興味をもって私の卓話を聞いてくださって、ありがたいなと思いました。以上です。



例会主題 ~ 卓話

「ロータリーの友」について

ロータリーの友地区代表委員 伊藤 悟様(大宮シテイRC)

皆さんこんにちは。私は本年度「ロータリーの友」地区代表委員を務めます大宮シテイRCの伊藤と申します。本日は、卓話にお呼びいただきありがとうございます。



昨年度、RIの特別月間が変更になり、4月の雑誌月間がなくなりました。そこで今年度から、日本独自の月間として9月が「ロータリーの友月間」として新設されたのです。

『ロータリーの友』の創刊は、戦後1地区だった日本のロータリーが2地区に分割されたのが1952年で、分割後の2地区が情報を共有できるように、1953年『ロータリーの友』が創刊されました。

『ロータリーの友』は「ロータリー地域雑誌」と呼ばれています。RI本部が編集・発行している機関誌『The Rotarian』と、30の地域雑誌を合わせて、「Rotary World Magazine Press」と言われています。

会員の三大義務の1つとして『ロータリーの友』または『The Rotarian』の購読があるのは御存じでしょう。購読とは購入して読むという事で、皆さんは会費の中から負担しています。

1冊いくらでしょう？消費税込みで「216円」です。

「ロータリー地域雑誌」は『The Rotarian』の記事の中から、指定された記事を転載する義務もあります。『ロータリーの友』では「RI指定記事」と呼んでいますが、記事のタイトル辺りにロゴを入れています。



『ロータリーの友』は表紙が2つあります。左から開けると横組み、右から開けると縦組みになっています。横組みには、RI指定記事、関心の高いテーマに関する特集など、ロータリー地域雑誌としての公式的な記事を中心に掲載しています。縦組みは、日本のロータリアンの懸

け橋となる記事を掲載しています。投稿が中心です。8月号の扉面にこの野崎会員の句が載っています。

ロータリー財団100周年を祝って、7月号から毎月、ロータリー財団に関する記事を掲載しています。地区やクラブで実施した、ロータリー財団100周年を祝う活動も掲載します。

今年度から新会員にロータリーの基本的情報を届ける「ようこそRotary」をスタートしました。東日本大震災直後からスタートしたコーナーに「心は共に」があります。支援活動や、被災地のロータリアンの現状報告などを掲載しています。2016年4月の熊本地震でも、大きな被害が出ました。6月号から、熊本地震の記事も併せて掲載しています。東日本大震災支援として「ロータリー希望の風奨学金」という活動が行われており当地区も支援しています。

縦組みでは「クラブを訪ねて」が新企画です。プロのライターとカメラマンが取材をし、記事にしており、とても読みやすく、メーキャップに行ってみたいと思わせる内容です。



「バスル de ロータリー」の答えは、すべてロータリーに関係のあるものです。景品は、オリジナルUSBメモリーです。是非応募してみてください。

『ロータリーの友』ホームページがリニューアルしました。ご覧いただくにはIDとパスワードを入力する必要があります。IDとパスワードは各クラブに郵送でお知らせしましたので、幹事または事務局にお尋ねください。ご確認ください。また、「投稿フォーム」を用意されたので、簡単に投稿できるようになりました。

『ロータリーの友』に掲載されるには 写真は活動の様子わかる写真をお送りください。生き生きとした動きのある色のきれいな写真が読んでもらうための重要なポイントです。原稿はポイントを絞って書いてください。読者は皆さまや皆さまのクラブのことを知りません。必要に応じて、説明を入れ、活動日も入れてください(活動後、1か月以上経過した原稿は掲載できません)。

『ロータリーの友』事務局が発行している冊子についてご案内します。広報誌「ROTARY 世界と日本」は、毎年8月に改訂しています。クラブや地区で開催する公開講座、スポーツ大会、地域でのイベントなどの際に、ロータリアンでない人々に配ってロータリーのことを知ってもらうツールとしてご利用ください。

もう一つ『ROTARY あなたも新しい風に』は「新会員勧誘用」として、創刊しました。その後、毎年8月に改訂しています。会員候補者または新会員にお渡しただければ、短時間でロータリーの概要を理解してもらうことができますのでご利用いただければと思います。

是非『ロータリーの友』をお読みいただきロータリーへの理解を深めていただきたいと思ひます。また、投稿して貴クラブの活動を日本の仲間に伝えて頂ければ幸いです。本日は、卓話の時間をいただきありがとうございます。



伊藤様、卓話いただきありがとうございました！

スマイル

武重会員 孫娘がイタリア・ポローニャ大学医学部に合格しました。世界最古の大学です。大塚信郎会員 結婚祝い ありがとうございます。  
細野会員 10月14日は本当にありがとうございました。  
藤村会員 130周年健康フェアに参加いただいた皆様、ありがとうございます。

久保田会長/樋口幹事/須田副幹事/井土会員/村岡会員/大木会員/齋藤博重会員/深澤会員/関口会員/野瀬会員/長沼会員/斎藤修弘会員/門崎会員/坂本会員/春日会員/芳賀会員/小林裕一郎会員

出席	会員数	38	出席数	25
欠席	欠席数	13	(%)	65.79
前回確定			欠席数	4
修正(%)	89.47		(M・U)	7

